

ちよっふの教育

発行 調布市教育委員会 編集 教育部教育総務課 (刊行物番号 2021-168)
調布市ホームページ <https://www.city.chofu.tokyo.jp/>



No.84
3/20
令和4年(2022)

令和3年度2学期における学校教育活動

夏休み延長やオンライン授業期間を経て、2学期はこれまで感染拡大防止の観点から延期または中止していた宿泊を伴う移動教室や中学校の修学旅行、合唱コンクール等の教育活動を一部再開することができました。児童・生徒の健康・安全が最優先ですが、今後も感染状況を踏まえつつ、子どもたちの豊かな心の育成のため、体験を伴う教育活動が実施できるよう、努めていきます。



①合唱コンクールの様子 (第五中学校)

感染症対策のため、午前に3年生の部、午後に1・2年生の部を開催し、3年生の最優秀クラスのアンコール演奏を行いました。



②運動会の様子 (杉森小学校)

各学年の競技、表現を1種目とし、時間を短縮したうえで実施しました。また、保護者参観も学年別を実施するなど、工夫を凝らしながら実施しました。



③八ヶ岳移動教室の様子 (第二小学校)

滝沢牧場で動物に触れる際も、手指消毒を施し、牛の乳しぼり後もしっかりと手を洗って動物と楽しく触れ合いました。

④電気通信大学でのロボット操作体験

人数を制限しての開催でしたが、ヘビ型ロボットの操縦をパソコン画面から行い、実際に障害物を避けながら進めるなど楽しく取り組みました。

⑤1人1台のモバイル端末の活用

調布市において、児童・生徒に1人1台モバイル端末を配備して1年が経ちました。児童・生徒は端末を活用して、調べたり、作品を作成したりするほか、保存や情報共有等、必要に応じて、上手にモバイル端末を活用しています。

布田小学校開校40周年記念式典

10月15日、布田小学校開校40周年記念式典を行いました。感染症の状況を踏まえ、規模を縮小しつつ、「子どもたちが学校・地域への愛着を深めるとともに、日ごろからお世話になっている地域の方々に感謝を伝える場」になるよう開催方法を工夫しました。式典では、長友市長や卒業生である相馬勇紀選手(プロサッカー選手、東京2020オリンピック競技大会日本代表)からのビデオメッセージや市や地域からの記念品をいただきました。また、6年生から地域の方へ、感謝状をお渡ししました。さらに、6年生によるボディパーカッション(※)「花火」でお祝いの気持ちを表現しました。タブレット端末も活用し、1~5年生はオンラインで式典に参加するとともに、全校児童によるバルーンリリースを行いました。

布田小学校は、これまで受け継がれてきた「梅の心」を大切に、子どもたちの笑顔あふれる学校をさらに目指していきます。 ※ボディパーカッション…体を叩くなど、体を楽器にして音楽を表現する音楽活動



問合せ/指導室 ☎481-7480

オリンピック・パラリンピック教育をレガシーに

調布市では、オリンピック・パラリンピック教育を通して、共生社会や国際社会を担う資質・能力、日本人としての自覚と誇り、進んで社会貢献する力等を育成してきました。東京2020大会以降も各学校において、国際交流、障害者理解、ボランティアマインドの育成などの教育活動を継続・発展させ、「東京2020レガシー」として引き継いでいきます。



車いすバスケットボール銀メダリスト 豊島 英氏の講演会

12月1日に飛田給小学校で行われた道徳授業地区公開講座では、車いすバスケットボール日本代表主将の豊島 英選手にお越しいただきました。当日はバスケットボールを使ってのパフォーマンスや、東京2020大会についての貴重なお話をさせていただきました。

問合せ/指導室 ☎481-7480

デジタル化に対応した食育の推進について

市立学校では、市内農産物を活用した給食を通じ、地産地消を進める「S&A(スクール&アグリカルチャー)」の取組や、国の「第4次食育推進基本計画」における、3つの重点事項の1つに掲げられたデジタル化に対応するため、タブレット端末等を活用した食育の推進に取り組んでいます。

こうした中、NTT東日本及びNTTアグリテクノロジーと連携し、市内で栽培された「トマト」を給食食材として活用することで地産地消につなげるとともに、地域で取り組んでいる新しい農業技術を生かした取組について動画で学びました。

この取組について、児童へのタブレット端末を活用したアンケート調査により、「トマトは苦手だけどおいしかった。」「最先端の技術を知ることができた。」「食料自給率が低下する中、地産地消の大切さが身近に感じられた。」等の感想が寄せられました。



※詳細は市HP(右のQRコードからアクセス可)を参照ください。



問合せ/学務課 ☎481-7476

令和3年度

調布市教育委員会表彰

毎年、学習やスポーツ、文化活動などで他の模範となる顕著な活動をした児童・生徒・団体の功績をたたえ、表彰をおこなっています。令和3年度分22件、令和2年度分1件が表彰の対象となりました。

受賞者代表の言葉

第三中学校第3学年 明石 侑奈さん

(陸上/「スポーツにおける活躍」にて表彰)

この度はこのような賞をいただき、誠にありがとうございます。私は昨年、リレーで関東大会へ初進出し、個人では関東大会3位、全国大会5位に入賞しました。しかし、このような結果を残すための日々は、辛い事もありました。それは私が混成競技者(※)で、複数種目の練習が必要な競技に取り組んでいたからです。限られた時間でリレー練習と混成競技の両立が難しく、自分は力不足だと焦り、涙を流す事もありました。そんな時、家族や顧問の先生に支えられ、仲間と励まし合い、目標を明確にする事で辛い時も自分と向き合う事ができました。昨年開催された東京2020大会で調布市出身の選手が活躍する姿を見て、私の夢も定まりました。日本ではまだ競技人口の少ない混成競技を私が世界で戦い、メジャーにします。同時に私の努力する姿で沢山の方々に力を与えていきたいです。そして夢を応援し支えてくださる全ての方々に感謝を忘れず、私らしく成長できるよう、日々努力していきます。

※混成競技…陸上競技で、1人の選手が異なるいくつかの種目の競技を行い、合計得点を争うもの。

被表彰者一覧

(令和4年2月17日時点) 表彰理由等、詳細は市ホームページ(右QRコードからアクセス可)をご確認ください。



- スポーツにおける活躍
令和3年度分
長谷部 蒼昊(八雲台小学校)
松澤 七海(多摩川小学校)
櫻井 成(調布中学校)
大岡 虹瑛(神代中学校)
榎村 せいあ(神代中学校)
明石 侑奈・松岡 莉央・早岡 万央・山上 瑠奈・山口 采実・山崎 優和(第三中学校)
佐藤 琴美(第三中学校)

- 松原 杏奈(第三中学校)
酒井 玲菜・宮本 青璃(第三中学校)
増本 黎虹(第五中学校)
福田 実智子(第五中学校)
小林 兼輔(第七中学校)
バドミントン部(第三中学校)
陸上競技部(第三中学校)
調布イーグルス(第二小学校ほか)
上ノ原ファントム(上ノ原小学校)

- 令和2年度分
田中 碧・豊田 花佳・宮島 萌々・大場 愛紗・西田 春奈(第五中学校)
●文化活動における活躍
令和3年度分
清水 愛里咲(第三小学校)
隠田 悠人(上ノ原小学校)
志水 伶衣(石原小学校)
川畑 紗也(第八中学校)
大畑 明澄香(第五中学校)
吹奏楽部(第三中学校)

問合せ/教育総務課 ☎481-7465

教育長・職務代理者の再任

大和田正治氏は、令和3年第3回調布市議会定例会で議会の同意を得て、令和3年10月1日付けで教育長に再任されました。任期は令和6年9月30日までです。

教育長職務代理者であった奈尾力氏は令和3年第4回調布市議会定例会で議会の同意を得て、令和3年12月18日付けで教育委員会委員に再任されました。また、令和3年12月20日に開催された令和3年調布市教育委員会第6回臨時会で、教育長から教育長職務代理者に指名されました。任期は令和7年12月17日までです。



教育長 大和田 正治氏



教育長職務代理者 奈尾 力氏

問合せ/教育総務課 ☎481-7465

令和3年度 秋の叙勲及び東京都教育委員会表彰(健康づくり功労)

調布市の学校保健に長年ご尽力をいただいた先生方が、下記のとおり受章及び表彰を受けられました。これまでの御活躍と御功績に敬意を表します。

令和3年秋の叙勲(瑞宝双光章)

第五中学校学校薬剤師

石坂玲子先生



石坂玲子先生

令和3年度東京都教育委員会表彰(健康づくり功労)

深大寺小学校・若葉小学校・第四中学校学校医(耳鼻科)

竹田数章先生

第三小学校学校歯科医

星野吉計先生

富士見台小学校・第三小学校学校薬剤師

佐野らん子先生

問合せ/学務課 ☎481-7475

アフラック生命保険(株)と連携したがん教育の実施

令和3年度は、アフラック生命保険(株)と連携し調布中学校、第五中学校、第七中学校、第八中学校において、がん教育を実施しました。外部講師としてNPO法人がんノート代表理事岸田徹様を迎え、生徒たちは命や健康の大切さを学びました。生徒たちからは多くの質問が寄せられ、活発なやりとりのある時間となりました。来年度は、神代中学校、第三中学校、第四中学校、第六中学校で実施予定です。



問合せ/指導室 ☎481-7480

令和3年度調布市教育シンポジウムを開催

令和4年1月29日「一人一台端末を活用した個別最適な学びへの挑戦」をテーマに調布市教育シンポジウムを開催いたしました。第一小学校特別支援学級及び通級指導教室、第三小学校、第七中学校はしうち教室から実践報告をしていただき、帝京大学金森克浩教授を招いて基調講演をいただきました。



シンポジウムの動画はQRコードからアクセス可

問合せ/指導室 ☎481-7480

教育随想

きょういくずいそう

校長先生に日ごろ感じている思いを聞きました。

自分らしく頑張る

染地小学校長

大柳 ひろみ



私には『その人らしく頑張る』ことを大事にする」という信条があります。職員集団をまとめて学校づくりを進める際にも、それを生かすことができたと思っています。教職員人生の半分にあたる約20年間を、歴史と文化があり自然豊かな調布の学校で、多くの方に温かく支えていただきながら温められたことは、私にとって大変幸せでした。関係の皆様にも心より感謝しております。縁あって出会った子どもたちが、これからも自分らしく頑張る、健やかに成長し活躍してくれることを願っています。

人と環境

柏野小学校長

浅野 正臣



小学校の教員として児童と関わっていると、自分だけではもちろんのこと、学校だけでは十分に児童の要望にこたえられていないという経験をします。そのような時、何度も地域の方々や環境に助けられてきました。柏野小学校に勤務して3年がたちますが、柏野周辺の、自然を含めた環境の良さと学校に愛情をもって接していただける多くの方々にもいつも感謝しています。児童の発見は、自分の発見でもあります。幸せな職業に就いたなと感じる瞬間です。

「創造力」

第三中学校長

大瀬 義一



私は若い時に芸術家の道を目指していましたが、まさか、校長という立場で退職するとは想像もしていませんでした。教育学部ではないので素人同然のスタートでしたが、いざ学校現場で働いてみると、とてもやりがいのある仕事でした。そんな中で、常に心掛けていたのは創造力を持って仕事にあたることでした。既存のやり方や慣習にとらわれず、本当に子供たちに必要なことは何かと考えることができたのは、芸術を目指していたことが支えになっていたのだと今思っています。

目標・夢を持つこと

第七中学校長

山田 勝



心身ともに大きく変容する成長期の中学生を見守り38年経ちます。その間、一番子供たちに伝えてきたことは「目標・夢を持ちましょう」ということでした。目標・夢を持つことで全ての取り組みに意義が生まれ、意欲が出てきます。そして、自分の行動を客観視できるようになり、より多角的な視点で自分の成長に取り組む姿勢を持つことができるといえます。これからも、目標を持つということをも自分自身も心掛け、また発信し続けていきたいと思っています。

新たな時代に向けて

第八中学校長

佐藤 政彦



調布市に校長として着任し、3年が経ちました。この間の大半は、感染症との戦いでした。臨時休校、時差登校、オンライン授業、教育課程の変更などなど、経験則だけでは立ち向かえない、未知の領域でした。校長としての判断力・決断力が問われた3年間となりました。これからの社会は変化が激しく、学校教育にも変革が求められます。不易と流行を十分に見極め、感染症への対応で培った、確かな判断力と揺るぎない決断力で、次世代の学校を創りたいと考えております。

調布の文化財

国史跡深大寺城跡

都立神代植物公園分園水生植物園内に深大寺城跡があります。

深大寺城は、15世紀末頃に扇谷上杉氏により築城されました。江戸城を築いた太田道灌の主として有名な関東管領の一族・扇谷上杉定正は、太田道灌を暗殺したことに端を発した同族・山内上杉氏との抗争中でした。扇谷上杉氏は河越に本拠を置き、武蔵国・相模国に版図を広げており、深大寺城は、主要拠点を結ぶ「つなぎの城」の役割を果たしていました。

16世紀に入り、小田原北条氏が関東制覇に乗り出すと、扇谷上杉氏は領国を狭めていきます。深大寺城は、北条方に落ちた江戸城奪還と多摩川以北に進出してきた北条領国に対抗する「境目の城」として再築城されます。



深大寺城の柱跡

しかし、北条氏により本拠・河越城を奪取され、深大寺城は役割を果たすことなく廃城します。

北条氏に改変されず、戦国時代前期の城郭の様子が保存されている貴重な城ということで、平成19年7月26日に国史跡に指定されました。

問合せ／郷土博物館 ☎481-7656

郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」の開催

調布市郷土博物館では、毎年1月から小学校3年生社会科の学習に対応した展示を開催しています。自分たちの暮らしている地域の昔の暮らしや道具、まちの移り変わりの様子を学べる展示です。

博物館の所蔵資料から、明治・大正・昭和の衣食住の道具を中心に紹介しています。道具は時代とともに改良され、特に電化製品が広まる前と後では、暮らしが大きく変化しました。電気がなかったころの道具やちょっと昔の電化製品をはじめ、さまざまな生活用品から昔の暮らしに思いをめぐらせて、どうぞご覧ください。

- 開催期間 令和4年1月12日(水)～5月29日(日)
- 会場 調布市郷土博物館1階展示室
- 開館時間 午前9時～午後4時
- 入場料 無料
- 休館日 月曜日(祝日の場合は直後の平日)

※感染症対策のため、利用の人数・サービスを制限して開館しています。状況により、開催内容の変更をする場合がありますので、詳細は市ホームページ(右QRコードからアクセス可)を参照してください。



郷土学習展の様子



問合せ／郷土博物館 ☎481-7656



『このほんよんで! 第2版 追録版』配布しています



調布市立図書館 公式キャラクター「じろ」

平成22年に刊行したおすすめ絵本リスト『このほんよんで! 第2版』以後に出版された作品で、図書館のおはなし会等で取り上げたものの中から、おすすめしたい作品を選んで紹介したリストを作成しました。

市内各図書館で配布しています。

問合せ／図書館 ☎441-6181

調布市民の大先輩・武者小路実篤を学ぶ!



学校むけ貸出パネル

武者小路実篤の人柄や活動、作品を解説したパネルを作成し、学校へ貸し出しています。校内掲示や授業での活用、読書週間にあわせた学校図書室での利用も多くあります。

種類は全部で18枚、当館ホームページでご覧いただけます。

問合せ／実篤記念館 ☎03-3326-0648

図書館で利用カードを作ろう!

利用カード1枚で調布市立図書館全館の利用できることを御存知ですか?

調布市立図書館には、全館で約140万冊の蔵書があります。利用カードをお持ちいただくと図書・雑誌20点、視聴覚資料3点まで借りることができます。

ぜひ利用カードを作って図書館をご利用ください!



調布市立図書館 公式キャラクター「じろ」

誰が作れるの?

→調布市内に在住、在勤、在学の方

※近隣にお住まいの方も作れる場合があります。

利用カードを作るには何が必要なの?

→氏名・住所を証明できるもの(有効期限内の運転免許証・健康保険証・学生証など)をご本人がご提示ください。

※小学生以下は、氏名・住所が確認できる証明書がなくても利用カードを作ることができます。

※利用カードは0歳から作れます。申請書が記入できないお子さまは、保護者の方と一緒に図書館カウンターへお越しください。

有効期限はあるの?

→有効期限は2年間です。更新の際も氏名・住所を証明できるものが必要です。最寄りの図書館までお越しください。

問合せ／図書館 ☎441-6181

令和4年度 調布市防災教育の日

4月23日(土) 市立小・中学校 全校一斉実施

教育委員会では、東日本大震災の教訓を風化させないため、4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」とし、自助・共助の精神を育む防災教育や防災訓練等を、全ての市立小・中学校で一斉に実施しています。

当日は、学校教育活動として調布消防署、調布警察署や防災活動に取り組んでいる講師などによる防災講話や「命」の授業、避難訓練を行うとともに、市統一テーマ訓練として、市職員と地域の方による「感染症対策を踏まえた避難



避難訓練



避難所開設訓練 (簡易テント・ベッドの設置)

所開設訓練)を体育館等で実施予定です。

※感染症等の状況により変更となる場合があります。

※詳細は、市報ちょうふ、市ホームページ等をご確認ください。

問合せ／教育総務課 ☎481-7465

指導室・教育相談所では教育に関するさまざまな支援や相談を行っています

来所相談

3歳から18歳くらいまでのお子さんについての相談をお受けしています。

【ご相談内容の例】

- 友達とうまくいかない、集団になじめない、落ちつきがない、学校に行きづらいなど、お子さんについての心配事の相談
- 心理相談員による相談やプレイセラピー

問合せ／教育相談所 ☎481-7633

電話相談

専門の相談員が、学校生活や子育てに関する相談を匿名でお受けしています。お気軽にお電話ください。

【受付時間】

平日午前9時～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)

問合せ／教育相談所 ☎481-7777

就学相談

通常の学級における指導では、その能力を十分に伸ばすことが困難で、特別な支援が必要なお子さんに、適切な教育の場を提供するための相談を行っています。

【ご相談内容の例】

- 特別支援学校、特別支援学級への就学や転学
- 校内通級教室、きこえ・ことばの教室への入級相談

【就学相談(令和5年度入学)のご案内】

令和5年4月入学予定のお子さんで、市立小学校に設置されている特別支援学級、通級指導学級及び校内通級教室への入級や、都立特別支援学校への入学を希望される場合は、就学相談への申し込みが必要です。お申し込み開始は令和4年5月中旬を予定しています。詳細は令和4年5月に調布市ホームページに掲載します。

問合せ／教育相談所 ☎481-7634

教育支援コーディネーターとスクールソーシャルワーカーによる相談

家庭や学校を支援しながら、教育全般についての相談をお受けしています。

【ご相談内容の例】

- 「太陽の子」の利用、「はしうち教室」の入室相談
- 登校しぶりや不登校の相談
- 教員の対応についての相談
- 友達とのトラブルなど学校生活での悩みや不安の相談
- 不登校児童・生徒への家庭訪問
- 子育てに不安のある保護者の相談

※適応指導教室「太陽の子」とは

不登校又はその傾向が見られる小学生を対象に、適応指導教室「太陽の子」を設置しています。太陽の子では小集団での学習活動等を通して、社会的自立に向けた集団生活への適応力を育みます。

※分教室型不登校特例校調布市立第七中学校「はしうち教室」とは

「はしうち教室」は文部科学省の認可を受け、独自の教育課程で学習する学びの場です。不登校の中学生の社会的自立を目指し、指導を行っています。

【はしうち教室の特徴】

- 小集団の学級編制
- 午前3単位時間・午後2単位時間の授業を基本とし、生徒の実態に応じたゆとりのある時間割
- 生徒の学習状況に対応した「個別学習」の授業
- 得意とする表現方法を高める「表現科」の授業
- 社会性を育む「コミュニケーション・スキル・トレーニング」の授業など



問合せ／指導室 ☎481-7718

希望される方は
お忘れなく!

令和4年度就学援助申請受付 4月からスタート!

児童・生徒が学校で等しく勉強できるように、経済的に困りの保護者に対して、給食費や学用品費などの学校で必要とする費用の一部を援助しています。希望される方は、学務課へ申請の手続きをお願いします。

詳細は市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)にも記載しております。<トップページ→子育て・教育→学校・就学→就学援助・奨学金>からご覧ください。



対象者

調布市に居住し、市立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者で、所定の認定要件に該当する方です。申請内容を審査して決定します。

主な認定要件

いずれか1つに該当する方が対象です。

- ・世帯全員の市民税が非課税である。
- ・児童扶養手当を受給している。
- ・世帯の所得の合計が基準額未満である。
- ・令和4年1月以降に新型コロナウイルス感染症の影響により収入が激減した方

収入・所得額の目安

世帯人数	2人	3人	4人	5人
収入例	約275万円	約376万円	約425万円	約535万円
所得例	約184万円	約256万円	約296万円	約383万円

※上記金額はあくまで目安です。

※世帯構成・年齢・住宅状況などにより異なります。

他の要件もありますので、市ホームページをご確認いただくか、学務課へお問い合わせください。

申請の手続き

- ①お知らせ・申請書の配付
毎年4月上旬に各学校から児童・生徒全員に配付します。
その他、学務課で受け取るか、市ホームページからダウンロードすることも可能です。
- ②必要書類
・申請書
・必要な証明書等のコピー(必要な方のみ。申請書の裏面で必要書類をご確認ください。)
- ③提出方法
学務課へ持参又は郵送
- ④受付期間
4月分から支給を受けたい場合は、令和4年5月2日(月)までに提出してください。
この期間以降に申請し、認定となった場合は、申請を受付けた月の翌月分からは支給の対象となりますので、お早めにご提出ください。

援助の内容

給食費・学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学学用品費・新入学準備金・移動教室費・修学旅行費・卒業記念品費・体育実技用具費・通学費・医療費
※学年や認定月により受けられる援助の内容や支給金額が異なります。

詳細は、4月に配付するお知らせをご確認ください。

【支給金額の例(年額)】

・小学校6年生 約16万円 ・中学校3年生 約18万円

問合せ/学務課 ☎481-7473

親子料理教室について

教育委員会では、例年、夏休み期間中に文化会館たづくり調理室にて、市内在住の小・中学生と保護者を対象とした親子料理教室を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合形式ではなく、市ホームページにて、小学校の学校給食調理員が調理方法を実演する

動画配信を新たに行いました。

動画による調理の紹介に加え、レシピも掲載していますので、ぜひ、ご自宅等において親子で調理する際の参考にしてください。



(動画は左のQRコードからアクセス可)



問合せ/学務課 ☎481-7473

若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館の施設一体型整備を進めています

教育委員会では、若葉小学校の児童数増加に伴う学級数の増加や、校舎の老朽化への対策として、隣接する第四中学校の敷地を活用し、図書館若葉分館の移転改築も含む小学校施設と中学校施設を一体化する施設整備を進めます。令和3年度は、学識経験者や学校関係者で組織した調布市立若葉小学校・第四中学校施設整備検討委員会を設置し、施設整備を推進する上での基本的な方向性や考え方を示す基本構想の策定を進めています。

引き続き、令和9年度からの施設の供用開始に向けた準備を進めてまいります。



問合せ/教育総務課 ☎481-7466

給食費納入について

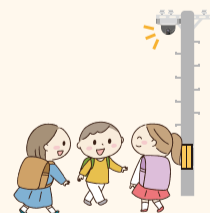
学校給食の運営は、学校給食法の規定により、実施に必要な施設・設備の整備費、人件費、光熱水費などは学校設置者が負担し、給食食材調達の原因となる食材費を給食費として保護者に負担いただいております。

給食費の未納は、食材の発注や公平かつ適正な給食会計に影響しますので、期日までの納入をお願いします。

問合せ/学務課 ☎481-7473

市立小学校の通学路等に防犯カメラを設置しています

教育委員会では、学校と地域等が連携して行う登下校時の見守り活動を補完するとともに、犯罪等を抑止し、子どもたちが安全・安心に通学することを目的として、平成27年度から市立小学校の通学路等を撮影する防犯カメラの整備を進めています。



問合せ/学務課 ☎481-7473

学校支援ボランティアの募集

市立小・中学校に設置している地域学校協働本部では、学校支援ボランティアを随時募集しています。地域教育活動に興味がある、学校教育活動の支援がしたいと考えている方がいましたら、ぜひご協力をお願いいたします。募集している職種、有償、無償等についての詳細につきましては各学校にお問い合わせください。

問合せ/指導室 ☎481-7585

教育委員会の開催状況

令和3年9月から令和4年2月までに、6回の定例会と3回の臨時会が開催されました。

主な案件

- ・令和4年度(令和5年1月)以降における調布市成人式の対象年齢について(案)
- ・調布市立若葉小学校・第四中学校施設整備検討委員会について
- ・コミュニティ・スクールの導入に向けた今後の予定について

・教育委員会の開催日・案件・会議録、教育委員会委員の活動報告、教育長交際費の支出状況など教育委員会の動きを市ホームページで公開しています。

令和3年度 総合教育会議の開催状況

令和3年10月13日に、令和3年度調布市総合教育会議が開催されました。今年度は市長、教育長、教育委員が布田小学校を訪問し、ICT機器を活用した授業の視察を行いました。視察後はICT機器の活用による学習環境の充実について意見交換が行われました。

市長と教育委員会は、調布市教育大綱のもと、それぞれの所管する事務を執行及び検証し、これからも緊密に連携しながら、多様な教育課題に取り組んでまいります。

問合せ/教育総務課 ☎481-7465

●【教育委員会の会議を傍聴しませんか】 定例会は毎月第4金曜日の朝10時から開催しています。傍聴を希望される方は、会議当日に教育会館3階研修室へお越しください。(会議日程は変更となる場合があります。詳しくは市ホームページをご確認ください。)